陶

11画

訓 おん トウ

なりたち 本字は匋（うと）。ふたのある瓶（めか）の形をかたどった缶と、これを大事に抱きかかえる形の勹（つつみがまえ）との会意字。粘土をこねね、焼いて作った〝せともの〟を表した字。陶は、粘土を手に入れる崖（けが）の意味の阝（こざと）を加えて作った字。

いみとじゅくご

▼せともの。やきもの。

陶器…粘土で形をつくり、うわぐすりを塗って焼いた器物。やきもの。

陶磁器…陶器と磁器。（堅くて上等なやきもの。）

陶芸…陶磁器を作る芸術。

陶工…陶磁器を作る人。

陶土…陶磁器の原料の白い粘土。

▼人を導き育てる。

薫陶…人格の力で人を感化し立派に育てること。

▼うっとりする。

陶酔…酒に酔って気持ちが良くなることから、うっとりとして夢心地になること。

用例 すばらしい歌声に陶酔した。

陶然…気持ちよく酔う様子。うっとりする様子。

よみかた 陶製

随

12画

訓 おん ズイ

なりたち 旧字体は隨。古い形は惰（本字は惰）の意味の隋（ずい）に辶（しんにょう）を加えて作った会意形声字。だらけた（惰）気持ちで、〝人のいうままになる〟ことを表した字。また、〝従う（ついて行く）〟意味。

いみとじゅくご

▼従う。

随行…人に従って行くこと。また、その人。

随伴…❶お供をすること。従って行くこと。❷ある事に伴って起こること。

用例 随伴して起こる現象。

付随…ある事柄に従属している（起こる）こと。

追随…人の後に従って行くこと。

▼さからわない。好きにまかせる。

随意…思うまま。勝手。

随時…❶好きな時に、いつでも。❷時々。折にふれて。

随所…至る所。どこでも。

随想…折にふれて思うこと（を書いた文章）。

随筆…思ったこと、見聞きしたことなどを思うままに書いた文章。

田

【1年】 5画

訓 くん た　音 おん デン

なりたち きちんと区画された〝田〟や〝畑〟の形をかたどった象形字。作物を栽培し収穫するための〝田〟や〝畑〟を表した字。ただし、わが国では稲を作る〝水田〟をいう。転じて、〝産物のとれる所〟。

いみとじゅくご

▼田や畑。耕作地。

田畑…田や畑。

田地…田になっている土地。

田園…❶田畑。❷農村。いなか。

田舎…❶都会から離れた地方。❷生まれたところ。郷里。

青田…稲が青々としている田。まだ実っていない田。

水田…田。水を引き入れて稲を作る田。

桑田…桑畑。**用例** 桑田変じて海となる。（変遷のひどいことのたとえ。）

▼産物のとれる所。

塩田…海水をため、乾燥させて塩を採る、田のような形をした海岸の砂浜。

油田…石油を採る所。

炭田…石炭を採る所。

さんこう 田舎

特別なよみかた↓

畑

【3年】 9画

訓 くん はた・はたけ　音 おん

なりたち 中国では、田も畑もすべて〝田〟といったが、わが国では、稲を作る水田だけが〝田〟で、他の作物を作る所は〝畑〟といった。わが国で作った文字。だから音がない。畑は、草木を火で焼いて作るので、火と田との会意字。

いみとじゅくご

▼はたけ。作物を作る所。

畑作…畑に作物を作ること。また、畑に作った作物。

畑地…畑となっている土地。

桑畑…桑の植えてある畑。桑原ともいう。中国では桑田。

麦畑…麦が作られている畑。

花畑…❶花が栽培されている畑。❷高い山や北国で、草花が一斉に咲きそろう草原のこと。お花畑という。

茶畑…お茶を栽培する畑。

焼き畑…雑木や雑草を焼き払って作った畑。

▼専門。

畑違い…専門の分野が違うこと。畑は土地柄や地質に適した物を栽培するため、麦畑・茶畑・桑畑・野菜畑など、作られるものが決まっていることによる。

よみかた 段段畑